

令和7年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒斑病

令和8年1月23日

鳥取県病害虫防除所

表 ナシ黒斑病の越冬菌密度調査（令和7年度）¹⁾

地区	短果枝の病芽率 (%)			一年枝上の枝病斑数 (個/枝)			病枝率 (%)		
	本年	前年	平年 ²⁾	本年	前年	平年 ²⁾	本年	前年	平年 ²⁾
河原町	3.3	0	0.6 ⁵⁾	0	0	0.1 ⁵⁾	0	0	11.1 ⁵⁾
佐治町	1.7	0	1.7 ³⁾	0	0	0.0 ³⁾	0	0	0 ³⁾
青谷町	1.7	1.7	2.1 ⁴⁾	0.1	0.1	0.3 ⁴⁾	13.3	6.7	13.3 ⁴⁾
八頭町	0	1.7	3.9	0	0	0.0	0	0	2.0
湯梨浜町1 (別所)	5.0	6.7	3.7	0	0	0.0	0	0	1.3
湯梨浜町2 (勝負谷)	0	1.7	0.7	0.1	0	0.1	6.7	0	3.3
倉吉市	0	1.7	1.3	0	0	0.1	0	0	3.3
北栄町 (園試)	1.7	3.3	1.3	0.5	0	0.1	33.3	0	5.3
琴浦町	0	0	0.3	0	0	0.1	0	0	7.1
南部町	0	0	1.7 ⁴⁾	0	0	0.0 ⁴⁾	0	0	1.1 ⁴⁾
平均	1.3	1.7	1.7	0.1	0.0	0.1	5.3	0.7	4.8

¹⁾ 1園あたり15新梢および60短果枝について調査した。

採取日は令和7年11月27、28日。調査日は令和7年12月3～22日。

²⁾ 平成27～令和6年度のうち、3年以上の平均値。

³⁾ 令和3年度より調査園を変更した。

⁴⁾ 令和元年度より調査園を変更した。

⁵⁾ 令和4年度より調査園を変更した。

<要約>

令和7年11～12月に行ったナシ黒斑病の越冬菌密度調査の結果、短果枝の病芽率は1.3%と平年に比べてやや低く、一年枝上の病斑数は0.1個/枝、一年枝の病枝率は5.3%とともに平年並であった。

<対策>

黒斑病の越冬伝染源を減らすため、枝病斑の削り取り後のトップジンMペースト等の塗布剤を塗布し、病芽の切除を徹底する。取り除いた部位は、園外で処分する。